

赤ちゃんにとって保護者が心づかれぬ 時間がもてるように



ブックスタートが始まりました。

お母さんや家族の人が、まだ物心のつかない赤ちゃんに向かって歌うわらべ歌や子守歌、そして絵本の読み語りは赤ちゃんの目と耳を通して伝わり、赤ちゃんの心の安定や言葉の成長に役立ちます。そして、それは大人にとっても得がたい大切な時間です。

赤ちゃんのときの記憶は成人したときにはほとんど失われますが、この時間が人間形成のために一番大切だといわれています。いってみれば、人間の基礎を築く大切な時期です。

いずれ巣立っていく子どもたちと共有できる時間は限られています。

この機会を大切にして、赤ちゃんとうつたりとした時間を過ごしませんか。

七尾市では、平成18年度から5カ年計画で、「七尾市子どもの読書推進計画」(未来をになう子どもたちに読書のよろこびを)、平成17年度から5カ年計画で、「七尾市児童福祉総合計画」(心豊かな七尾っ子応援計画)を策定しました。

その中で乳幼児に対し、ボランティアの方々の協力により読み語りをアドバイスしながら絵本をプレゼントする「ブックスタート」事業を今年度から実施することになりました。

対象

平成19年4月以降に生まれた赤ちゃん

☆3ヶ月児検診の日に実施

なぜ、ブックスタートなの？

赤ちゃんの体の成長にミルクが必要のように、赤ちゃんのことばと心を育むためには、抱っここの温もりの中でやさしく語りかけてもらう時間が大切です。ブックスタートは、赤ちゃんと保護者に絵本を開く楽しい体験と一緒に絵本を手渡し、心がふれあうひとときをもつきっかけをつくります。

大人にとっても心安らぐ子育ての時間、絵本はこのような時を自然に作るができます。絵本を開くことで、誰もが楽しく、赤ちゃんとうつくり心ふれあうひとときが持てます。

※お問い合わせは

中央図書館	☎ 53-0583
本府中図書館	☎ 53-3662
田鶴浜図書館	☎ 68-6785
中島図書館	☎ 66-8000

ブックスタートセットをプレゼント

かわいいラッコの親子のイラスト入りコットンバックの中に次のものが入っています。

- ・絵本2冊
- ・「がたんごとんがたんごとん」、「どうくんのさんぽ」
- ・おすすめ絵本リスト
- ・図書館利用申込書 など

ブックスタートセット





☆赤ちゃんと保護者が地域とつながりをもてるきっかけづくり

地域に子育てを応援する人がたくさんいることを知り、赤ちゃんが参加できる活動に出会うことで、保護者が安心して子育てができるきっかけになります。

☆保護者同士が出会い、つながりをもてるきっかけづくり

赤ちゃんのいる保護者同士が知り合い、絵本を通して気軽に話し合えるきっかけになります。

☆住んでいるまちに愛着をもてるきっかけづくり

ブックスタートにいろいろな人たちが関わったり、触れたりすることで、赤ちゃんを中心に広がる地域の温かさを感じ、住んでいるまちに愛着をもつきっかけになります。

☆地域の人同士がつながるきっかけづくり

赤ちゃんの幸せを願う地域の人たちが、出会って親しくなることで、よりよい子育ての環境づくりを考える関係が生まれます。

ブックスタートは地域の人たちが力をあわせて行う活動です。図書館、保健センター、子育て支援センター、ボランティアなどが、赤ちゃんの幸せを願う気持ちを共有し、それぞれの専門性を活かしながら実施しています。

ブックスタートをきっかけに赤ちゃんにやさしいまなざしが注がれるまちへ

ブックスタートを支えるボランティアのみなさん



～ブックスタートは、大勢のボランティアによって支えられています。～

鍵谷史子さん（ボランティア）
小林 虎太郎くん

「初めての体験だったので、反応することに驚きました。これからは、絵本を読み聞かせてみようと思います。」（虎太郎くんのママ奈美さん）

小谷薫さん（ボランティア）

赤ちゃんには、体の栄養も大切ですが、心の栄養も必要です。いいことばを聞かせたり、きれいなものを見せたり、心と体のバランスが大切です。絵本を媒体として、親子のコミュニケーションを図ってほしいですね。

佐々木晴光くん・美穂さん

「毎日添い寝しながら、絵本の読み聞かせをしています。くまが大好きです。」



川部治代さん（ボランティア）

「絵本を見る子どもたちの目はキラキラと輝いています。読み語りは、お母さんが抱っこして、赤ちゃんを膝の上のせて読むのが、一番。後頭部からはお母さんの声が、背中からは、お母さんの鼓動が伝わり、赤ちゃんは安心しますよ。」